

琉球大学学術リポジトリ

1960年1月の安保条約改定時の朝鮮半島有事の際の 戦闘作戦行動に関する「密約」に係る調査関連文書 No.5

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 朝鮮半島有事, ロジャース国務長官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43886

(回覧番号) 外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の朱印) 符号表示 略平 総第 20331 号

特秘 第 364 号 昭和 44 年 5 月 2 日 0 時 分 発

大至急 至急 普通 LTF 発電係

主管 米石 稔 米石 稔 米石 稔

主管局部課 (室) 名 米石 稔

起案 昭和 44 年 5 月 2 日

起案者 電話番号

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長 下

協限先

在 英 陽 川 大使 臨時代理大使 総領事 代理 大平 大臣 務

電 報 在 大使 臨時代理大使 総領事 代理 大平 大臣 務

件名 沖 籠 内 閣

愛知大臣へ車印アリカ局長より

本館ワシントン滞在中の控存は累次電報のとおりのところ補足等々以下申進める。

1. 國務省及び大隈領府事務書局はよく検討を進めてあり6月の大臣訪米の際は

漢

2 197

字 濟

(※印欄内は電信課記入)

(昭和四二七一改正)

GB-1

半政府として美債的協会に臨む気持を充分なるを感じせしむ。

2. 先づ自由土壌の問題について軍事的に満足し得た了解に達した上核の問題に外交しようとするべくである。

3. 核については通達時以後も「存在がないか分らない」という状態を著く希望して「子か」前記の如く先づ自由土壌の協会を考へていようである。

4. 總理の御希望により見日午後停筆報告を行つた(同席者なし)際(一般的印象の)ほか上記2及び3に關し米側は自由土壌について満足した了解が得た結果を申し上げて置いた。前記2及び3は「半國は自由土壌を重視し核は二つあり」と云う理解を極くおそれあり總理に報告申し上げたこと

GB-3

外務省

外は最^上に伏せ^ている。専^らに局長^に及^び副局長^には別途6日午場^に及^び同^日の^夜の^会議^の際^に報告^{する}予定^にある。